

平成29年度九州大学大学院法学府
修士課程入学試験問題（春季）

紛争管理論

問1 調停制度が、社会的な不正義をかえって助長するという批判があります。まず、その批判の議論を説明してください。その上で、調停制度を社会的に活用するために必要な配慮について、あなたの考えを述べてください。

問2 ADR法について、制度趣旨、基本構造、施行後にもたらされた影響を含めて説明してください。

問3 医療や建築など専門分野における紛争解決において、対話促進の必要性、方法、限界について論じてください。

問4 調停技法として、気持ちの言い換え（感情の反映）とはどのようなものか、具体例を交えて説明してください。また、この技法が持つリスクについて説明してください。